

というえ、や
が時間がか

圧をかけ

材料で新

を作るほ

わりに磁

ランジス

に取り組

素子に比

大幅に低

期待され

用化研究も進める。

コンピュターは今
後、衣服や机など身近な

商品にも組み込まれ、無
線通信で映像を送信する
などのサービスが十年以

内に本格化するといわれ
る。従来素子では消費電
力削減に限界がある。

肌を傷つけず皮膚内部
の健康状態を観察できる
新しい顕微鏡システム

を、資生堂と慶応義塾大
学が共同開発した。レー
ザー光を使う装置。しみ

の原因となるメラニンの
分布などを調べる。紫外
線の影響や肌の老化、化

粧品の使用による肌の変
化などの研究に活用し、
同社の新商品開発に役立

てる。

ループは、人間の血管内
で血液の流れの様子を立
体的に再現して見せるシ

実用化する。

北陸先端大の松沢照男
教授らはまず、金沢医科

大の松沢照男教授らは
まず、金沢医科大の松沢
照男教授らはまず、金沢

大の松沢照男教授らは
まず、金沢医科大の松沢
照男教授らはまず、金沢

大の松沢照男教授らは
まず、金沢医科大の松沢
照男教授らはまず、金沢

大の松沢照男教授らは
まず、金沢医科大の松沢
照男教授らはまず、金沢

大の松沢照男教授らは
まず、金沢医科大の松沢
照男教授らはまず、金沢

大の松沢照男教授らは
まず、金沢医科大の松沢
照男教授らはまず、金沢

大の松沢照男教授らは
まず、金沢医科大の松沢
照男教授らはまず、金沢

た。コンピュータで条件
を変えれば、動脈瘤のよ

る。開発したシステムは、
皮膚にレーザー光を当て
るだけで皮下組織まで見

ることができるとい
う。

これまでは皮膚を切り
取らないと、表皮の厚さ
やメラニン分布の詳細な

分析ができなかった。顔
の皮膚などは簡単に観察
できない難点があった。

▽遺伝子治療とゲノム交
流会 ヒューマンサイエン
ス振興財団は五月二十一

日、遺伝子治療とゲノム(全
遺伝情報)に基づいた医薬
品開発を促すための交流会

を東京・代々木の全理連ビ
ルで開く。企業経営者や大
学の研究者が参加し、ゲノ

ムやたんばく質の情報デー
タベースを創築に役立てる
ソフトウエアや、がんなど

遺伝子治療の取り組みにつ

る。開発したシステムは、
皮膚にレーザー光を当て
るだけで皮下組織まで見

ることができるとい
う。

これまでは皮膚を切り
取らないと、表皮の厚さ
やメラニン分布の詳細な

分析ができなかった。顔
の皮膚などは簡単に観察
できない難点があった。

▽遺伝子治療とゲノム交
流会 ヒューマンサイエン
ス振興財団は五月二十一

日、遺伝子治療とゲノム(全
遺伝情報)に基づいた医薬
品開発を促すための交流会

を東京・代々木の全理連ビ
ルで開く。企業経営者や大
学の研究者が参加し、ゲノ

ムやたんばく質の情報デー
タベースを創築に役立てる
ソフトウエアや、がんなど

遺伝子治療の取り組みにつ

遺伝子治療の取り組みにつ

る。開発したシステムは、
皮膚にレーザー光を当て
るだけで皮下組織まで見

ることができるとい
う。

これまでは皮膚を切り
取らないと、表皮の厚さ
やメラニン分布の詳細な

分析ができなかった。顔
の皮膚などは簡単に観察
できない難点があった。

▽遺伝子治療とゲノム交
流会 ヒューマンサイエン
ス振興財団は五月二十一

日、遺伝子治療とゲノム(全
遺伝情報)に基づいた医薬
品開発を促すための交流会

を東京・代々木の全理連ビ
ルで開く。企業経営者や大
学の研究者が参加し、ゲノ

ムやたんばく質の情報デー
タベースを創築に役立てる
ソフトウエアや、がんなど

遺伝子治療の取り組みにつ

遺伝子治療の取り組みにつ

る。開発したシステムは、
皮膚にレーザー光を当て
るだけで皮下組織まで見

ることができるとい
う。

これまでは皮膚を切り
取らないと、表皮の厚さ
やメラニン分布の詳細な

分析ができなかった。顔
の皮膚などは簡単に観察
できない難点があった。

▽遺伝子治療とゲノム交
流会 ヒューマンサイエン
ス振興財団は五月二十一

日、遺伝子治療とゲノム(全
遺伝情報)に基づいた医薬
品開発を促すための交流会

を東京・代々木の全理連ビ
ルで開く。企業経営者や大
学の研究者が参加し、ゲノ

ムやたんばく質の情報デー
タベースを創築に役立てる
ソフトウエアや、がんなど

遺伝子治療の取り組みにつ

遺伝子治療の取り組みにつ

る。開発したシステムは、
皮膚にレーザー光を当て
るだけで皮下組織まで見

ることができるとい
う。

これまでは皮膚を切り
取らないと、表皮の厚さ
やメラニン分布の詳細な

分析ができなかった。顔
の皮膚などは簡単に観察
できない難点があった。

▽遺伝子治療とゲノム交
流会 ヒューマンサイエン
ス振興財団は五月二十一

日、遺伝子治療とゲノム(全
遺伝情報)に基づいた医薬
品開発を促すための交流会

を東京・代々木の全理連ビ
ルで開く。企業経営者や大
学の研究者が参加し、ゲノ

ムやたんばく質の情報デー
タベースを創築に役立てる
ソフトウエアや、がんなど

遺伝子治療の取り組みにつ

遺伝子治療の取り組みにつ

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放

大に研究交流拠点
触媒分野、企業に開放